

事業計画の要旨

1. 県内経済の振興、地元企業・団体の活用

- **県内経済の振興** 群馬県の総合計画・産業振興基本計画を踏まえた取り組みを実施
  - ・ コンベンション関連産業の振興による経済波及効果と雇用効果を促進
  - ・ メディアを活用した来場者への観光誘客、宣伝・情報発信による観光県ぐんまの推進
  - ・ 展示誘致・共催による次世代産業を含む貴県の産業振興による「ものづくり立県」の推進
- **地元企業・団体の活用** 「オール群馬」による地元ネットワークの最大化を推進
  - ・ 地元企業への発注による地域への還元
  - ・ 県内企業・団体との連携例(下記)

【誘致・営業】	【運営】
群馬大学を中心とした県内15大学との関係構築	音響・照明等地元舞台設営会社との連携
全国大会や展示会などの関係企業・団体との連携	飲食・宿泊・輸送等の関連サービスとの連携
【広報・宣伝】	
地元メディアとの連携	
地域の家電量販店や公共施設との連携	

2. 広報宣伝、稼働率向上の取り組み

- **広告宣伝** 「施設認知度の向上」と「催事情報PRの仕組みづくり」の取り組み
  - ・ 地元メディアを活用した施設知名度の向上
  - ・ 総合広告代理店の幅広いネットワークを駆使したPR戦略
  - ・ オープニング事業開催による認知度向上
  - ・ 多様な広報ツールの制作・展開
  - ・ 遊具の仮設・開放による地域への施設PR など
- **稼働率向上の取り組み** ネットワークを活かしたコンベンション・イベントの誘致・営業
  - ・ 近隣施設との催事の棲み分けなど戦略的な営業の実施
  - ・ 地域利用を推進し、大規模催事のみでなく日常利用も拡大
  - ・ 継続利用を定着させるためのお客目線の利用者サービスの実現
  - ・ コンベンション・学会は群馬ならではの催事をターゲットとして設定
  - ・ 地域の観光振興、地域の観光資源や特産品を活かした誘致提案
  - ・ イベント開催・誘致は、「興行誘致」と「自主事業」の両輪で実施
  - ・ 集客力のあるアーティストによるコンサートの誘致

3. サービス向上、自主事業

- **サービス向上** 取りやすい・使いやすい・リピートしやすい施設を実現するサービス提供
  - ・ 取りやすい施設である事(平等、予約が簡単、面倒な手続きがない、気軽にコンタクトが取れる、など)
  - ・ 使いやすい施設である事(先回りして何でもやってくれる、何でも教えてくれる、融通が利く、など)
  - ・ リピートしやすい施設である事(前回利用時の内容を把握、良い設備がある、料金が安い、など)
- **自主事業** 県内における産業・学術・文化芸術の振興を図るため多様な催事を主催  
自主事業の実施例
  - ・ 【イベント系】ランニングイベントや日本酒、ファミリー向けイベントなど集客力の高い催事 など
  - ・ 【コンサート系】地元消防局や地域団体と連携した市民向けのコンサート など
  - ・ 【学術・セミナー】健康・創業・スポーツ等の分野のセミナー など
  - ・ 【文化芸術】ミュージカル、オーケストラ演奏会、伝統芸能に触れる催事 など

## 事業計画の要旨

### 4. 料金設定

- **利用料金** 設置条例に定められた料金を基準とし、様々な貸出に対応できる料金を設定
  - ・ 「群馬コンベンションセンターの設置及び管理に関する条例」に記載された料金を基準として設定
  - ・ メインホールと展示ホールは、他施設と同様に土・日・祝日の利用や入場料を徴集する営利目的の利用についての割増料金を設定(右記)
  - ・ 利用を延長する場合の延長料金も設定

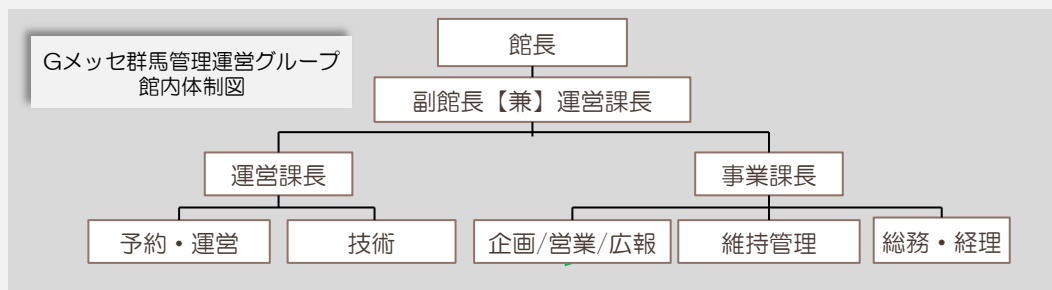
	入場料なし	入場料有
平日	A: 条例通り	B: 条例通り, A×110%
土・日・祝日	C: A×110%	D: C×110%

### 5. 収支計画、県への納付金

- **収支計画** 開業から5年間の指定管理期間中に、事業の安定化を実現
  - ・ 施設の認知度が上がる開業後1,2年までは赤字想定。指定管理料を活用しての運営
  - ・ 5年目に安定稼働をさせ、事業の安定化を行うことで、5年間の事業全体としては黒字を見込む計画
- **県への納付金** 指定管理料は開業直後に活用し、5年間の納付金合計で還元
  - ・ 固定納付金は、安定した運営が前提という考え方から、安定稼働を達成できる5年目に設定
  - ・ 変動納付金は、「確定した収入から管理運営経費と固定納付金を引いた額の2分の1」を納付
  - ・ 5年間の固定納付金と変動納付金の合計で、県から受領した指定管理料を全額還元できる計画

### 6. 管理運営体制

- **管理運営体制** 構成団体の地域ネットワークと専門人材を活かした強固な体制
  - ・ 構成団体3社での適切な業務分担による機動力のあるシンプルな組織の構築
  - ・ 専門的な知識・資格を有する人材の配置と地域の専門人材の育成
  - ・ 地元メディアをはじめとしたネットワークによる「オール群馬」での協力体制
  - ・ コンベンションビューローをはじめとする関係機関との連携



### 7. 利用者要望への対応・緊急時対応

- **利用者要望への対応** 迅速な情報共有・対応と事後のフィードバックによる再発防止
  - ・ 要望・意見を収集しやすい対応フローの設定
  - ・ 対応後の振り返りによる再発防止を確実にするスキーム
  - ・ 他施設事例の水平展開による事前の対策検討
  - ・ 他施設のケーススタディによる近隣住民への配慮と適切な要望対応
- **緊急時対応** リスクに備えた仕組みづくりと地域との関係づくり
  - ・ 発生時の適切な対応を行うための体制およびマニュアルの構築
  - ・ 周辺住民・施設や関係機関との日頃からの関係づくり
  - ・ 地域の災害活動拠点としての取り組みの実施
  - ・ 群馬県との災害時協定の締結